

事業計画に関する提案書

- ① 木造の構造部材として、びわ湖材を利用しやすくするための工夫
(木材調達、利用部材、設計手法、施工方法など)

1. びわ湖材を使った家づくりグループを核とした事業実施体制

○木の家づくりを 20 年来共に取り組んできた設計者と施工者によるチーム構成

- ・本提案における設計・施工チームは、地域の木を使った木造住宅の設計と施工に長年の連携と実績があり、びわ湖材を使うことがスタンダードになっている。
- ・また、地域の森林組合、林業家、製材所と共に家づくりグループを結成し、びわ湖材を使った家づくりを実践している。参画する全ての製材所は、びわ湖材取扱認定事業体になっており、びわ湖材の原木の調達、製材、乾燥に多くの実績を有している。
- ・このように本チームは、びわ湖材を使った建築をつくることで、滋賀県の森林整備に寄与しようとする理念が共有され、山から街までの木材流通の仕組みが構築できている。こうした人的ネットワーク、生産体制で、びわ湖材の利用を実現する。



びわ湖材の住宅利用事例

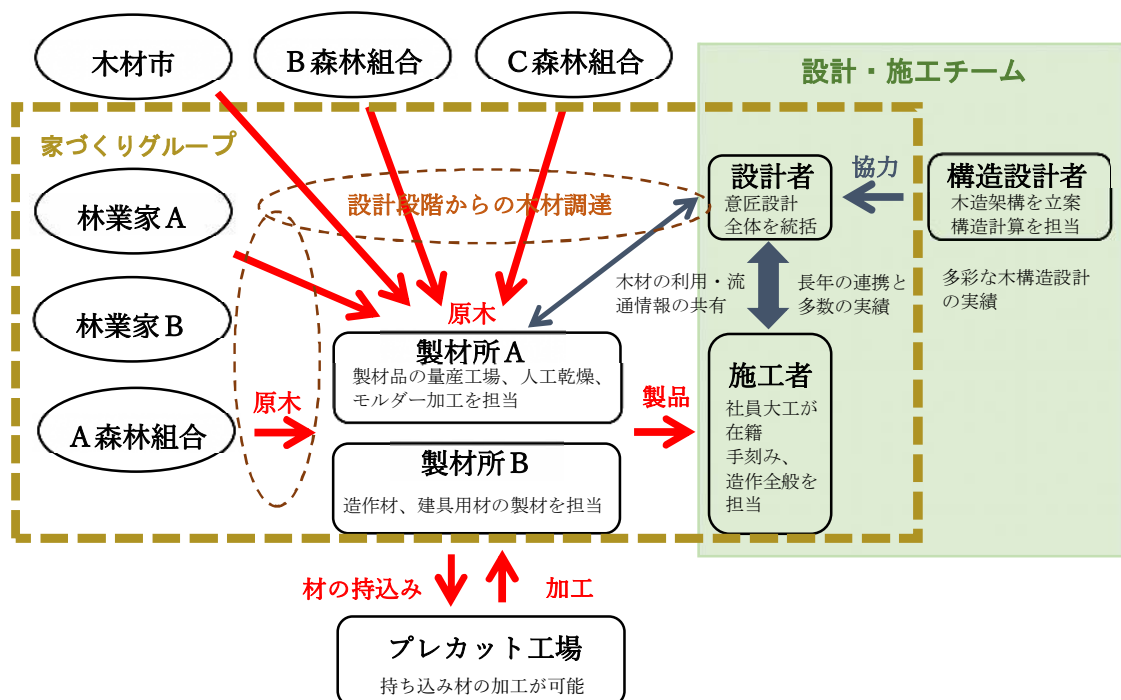
○中大規模木造に多くの実績のある構造設計者の参加

- ・本提案における木造架構の設計は、全国で多彩な木構造設計の実績のある構造設計者の協力を得て取り組む。
- ・また、協力を得る構造設計者は、昨今設計者向けに開催されている中大規模木造設計セミナーの講師を務めたり、常に新しい木造架構の技術開発に取り組んだり、高い木構造の知見と技術力を有している。
- ・今回、そうした構造設計者の参画を得つつ、びわ湖材の流通事情を踏まえた木造架構を提案する。

○材料の持ち込みが可能なプレカット工場を連携先として確保

- ・本提案における木造軸組みの加工は、大工の手刻みと、プレカット工場による加工を組み合わせた生産体制を計画している。
- ・連携先として確保したプレカット工場は、材料の持ち込みが可能で、本事業で発注を予定している製材所が生産するびわ湖材を納入し、加工することができる。
- ・このような生産体制により、プレカット工場のびわ湖材の調達能力に依存せず、確実な材料調達が可能である。また、材料の持ち込み料金が加算されるものの、全てをプレカット工場の発注した場合に比べて、費用面でもびわ湖材を利用しやすくすることができる。

■木造の構造部材として、びわ湖材を利用しやすくするための事業実施体制



2. 滋賀県内で生産可能な、一般住宅向けの製材品を利用した木造架構形式を採用

- ・ スパンに応じた合理的な構造形式と施工チームの特徴を生かした木造架構を実現する。
- ・ また、滋賀県内各地で産出された木材を適材適所に利用する。強度などの性能、乾燥・加工のしやすさ、調達しやすい原木サイズなど、最適な組合せを検討し、滋賀県内の木材をまんべんなく利用できるように設計を進める。
- ・ さらには、一般流通材を基本部材としながら、大径材の利用も視野に入れた設計を行う。
- ・ 林業会館の建設を通じて、森林所有者をはじめとして、県内林業関係者に対するメッセージを体現する建物となるようにする。

② 設計・施工におけるスケジュールを短縮するための工夫

1. 確認検査の所要日数が最短なるような構造計算手法を採用

- ・ 本提案における建物は木造2階建て、延べ床面積は501.79㎡で、許容応力度設計による構造計算が必要になる。その構造計算手法に、「壁量規定を満足」した上で、「許容応力度計算・ルート1」という手法を採用することで、①滋賀県内の製材所では入手が難しいJAS材を使わなくて良いこと、②確認検査において「構造計算適合性判定（追加的に35日審査がかかる）」が不要となることから、工期を短縮することができる。

2. 設計段階から調達すべき木材（丸太）を明確化

- ・ 本提案では、使用部材の寸法から必要な丸太を逆算できる能力も有した設計者が設計・監理、全体統括にあたる。基本設計の段階で必要な丸太寸法を把握し、製材所と共有することで、早期に丸太調達、製材に取りかかれ、製品の納期を短縮できる。
- ・ また、直近においても、設計段階から、設計者、森林組合、製材所が連携し、木材調達を行った実績が、民間の非住宅物件である。（右写真：設計者、森林組合との選木作業の様子）
- ・ このように図面だけを渡して木材を調達するのではなく、その調達にまで設計者がかかわることで、製品の納期を早めつつ、びわ湖材の利用を確実なものとする。



3. 木造架構現わしの意匠デザインや合理的な建築寸法の徹底

- ・ 施工段階においては、職種や工程の省略、作業の簡略化が工期を短縮することにつながる。日頃より住宅建築で実践している木組みを現わしにした室内意匠を適所に使い分け、現場での仕上げ工程を省略する。例えば、床組みや小屋組みを現わしにすることで、軸組の建て方が完了すれば、1、2階の天井面は仕上がる状態となる。
- ・ また、使用建材類は定尺で使用出来る平面モジュールとし、階高においても現場で切断することなく施工できる部材選定と寸法計画を徹底し、工期短縮を図る。
- ・ このような配慮は、イニシャルコストの縮減にも寄与することになるため、「施設計画に関する提案書」で具体的に記術する。



2階床組を現わしにした事例



小屋組を現わしにした事例

4. 手刻みとプレカットの効果的な組み合わせによる軸組加工期間の短縮

- ・ 本提案における木造架構は、一般木造住宅で行っている構造形式に、2つの構造形式を適所に組み合わせた計画としている。大工の手刻みとプレカット工場、それぞれの加工技術や特性に合わせた加工の分担を行い、延べ加工時間の短縮を図る。

③ 事業計画の策定にあたって特にアピールすること

1. 県内の森林組合に木材供給を呼びかけ、林業会館の建設に参画を促す

- ・本チームの設計者は、木材コーディネーターとしての活動も行っており、前述したように設計段階からの木材調達の実績がある。
- ・また、所属する家づくりグループにおいては、林業家に直接木材供給を依頼することもあり、設計者自ら山に入り、林業家に図面をみてもらって家づくりを実践してきた。
- ・さらには、作業班の方と造材の研修や意見交換を行い、積極的に木材生産の現場に関わってきている。
- ・本提案においても、設計段階からの木材調達に、是非、県内の森林組合に関わってもらえるように取り組みたい。



林業家と共に造材された原木を確認



作業班の方と造材研修の様子

2. グリーン化事業による補助金活用の提案

- ・本設計、施工チームが所属する家づくりグループは、平成28年から国土交通省のグリーン化事業に取り組んでおり、本年も採択を受け事業を進めているところである。
- ・その事業の中で、優良建築物枠があり、一定のルールと性能を満足することを条件に、あらかじめ申請し、採択を受ければ、10,000 円/㎡の補助金を受けることができる。
- ・令和2年度においても事業募集があれば、応募を検討したい。
- ・事業工程に表においては、それを踏まえた提案としている。

3. 現段階で綿密な設計と精度の高い見積もりを実施

- ・本提案で提出した設計図以外にも、構造の予備的解析を行い部材断面の決定・必要な構造材の把握、電気や機械設備の能力設定、配管・配線方法の検討、開口部の仕様・寸法設定などについて検討を終えている。
- ・それをもとに、精度の高い見積もりを行い、本提案を行った。

施設計画に関する提案書

- ① 他の構造（鉄骨造など）と比較して、建築施工（イニシャル）における経費を削減させるための工夫（利用部材、材料調達、工法、構法、デザインなど）

1. 一般流通製材品を用いて簡易な加工でつくるローコストな大スパン架構

○事務室の3間スパン（5.46m）を支える2階床組架構

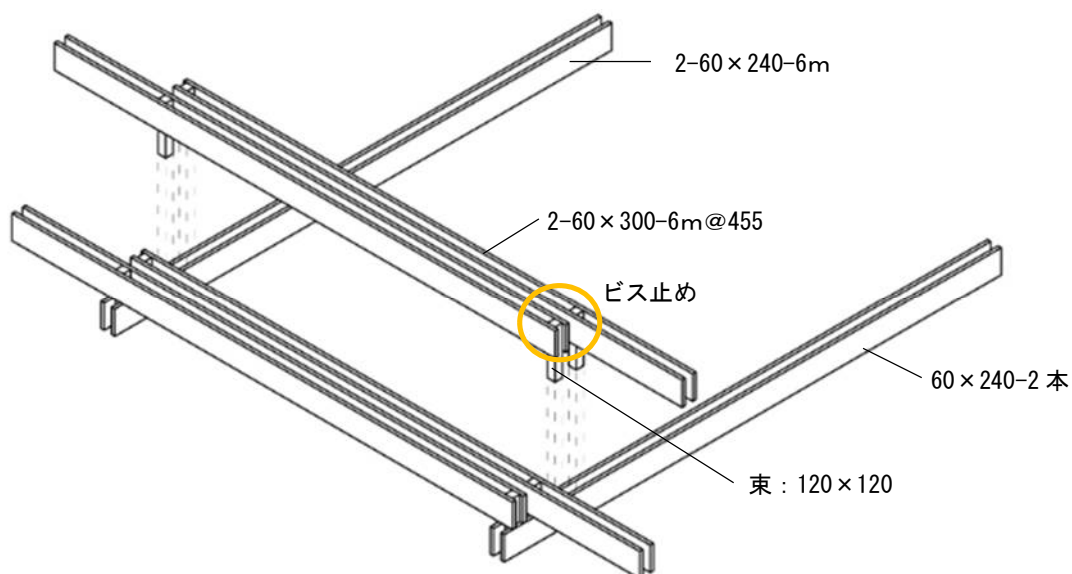
- ・部材断面:120×330・材長 4m材を用いたレシプロカル構造（相持ち構造）による格子梁とする。
- ・部材同士の接合は、一般的な梁受け金物が使用でき、プレカット加工で対応が可能な形状とする。



レシプロカル構造の実施例

○玄関ポーチの4間スパン（7.28m）を支える屋根架構

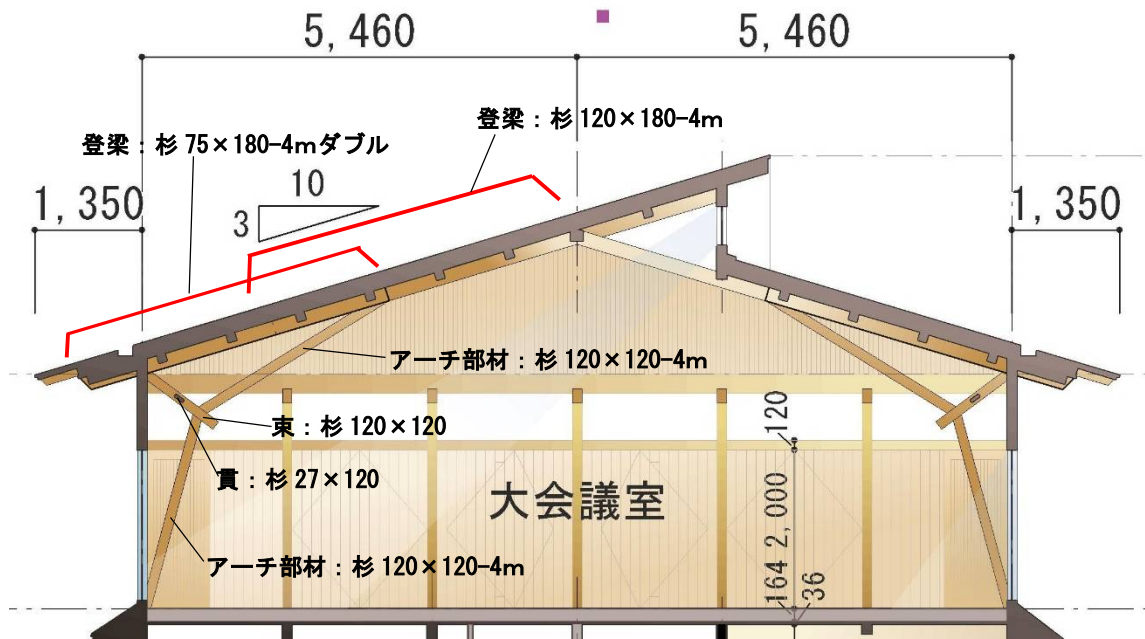
- ・部材断面：2-60×240 と 2-60×300・材長 6m相互を 120 角の束で繋ぎ合せたレシプロカル構造による格子梁とする。
- ・加工は所定の長さに切るだけで、部材同士の接合はビス留めで、所定の間隔、法則で並べるだけの簡単な施工方法である。



ポーチ屋根のレシプロカル構造

○大会議室の 10.92m もの大スパンを支えるアーチ構造による屋根架構

- ・部材断面：120×120、75×180、120×180 を用いて、材長はいずれも 4m 材で継手が設けられるように木材を折れ線状につなげた多角形アーチ構造とする。
- ・登り梁の継手は、シングル材をダブル材で挟む形式することで、簡易なディテールで曲げモーメントも伝達できる。
- ・また、アーチ部材の屈折部の座屈留めとして、束材同士を通し貫で繋ぐ。伝統的な構造要素である貫を構造の一部に採用することで、大工の手刻みの技術を生かす屋根架構とする。



大会議のアーチ架構

- ・以上のように、定尺 4m 材の調達しやすい部材断面を基本とすることで材料費を抑制し、加工においては、プレカットと大工の手加工をうまく分担し、木工事全体としてコストダウンを実現する。
- ・さらに、こうしてつくる木造架構の上に J パネル t 36 張り、現わしとした室内デザインとすることで、その後の仕上げ工程を省略し、費用を抑えつつ温かみのある室内空間を創出する。

2. 住宅用部材の活用と徹底した寸法計画で材料ロスと施工手間を削減しコストダウンを実現

- ・柱間隔 1.82m をモジュールとした平面計画を徹底し、合板などの建材の寸法ロスがでない計画とした。モジュールを優先することで、構造計画が明確となり、現わしにした構造体はリズミカルで美しい。
- ・また、高さ方向においても、外壁の耐力壁に使用する建材の定尺材 (3.03m) を、現場でカットすることなく使用できるように、1~2 階の階高と梁の部材寸法を設定した。
- ・このような配慮により、材料費の抑制と施工効率を高めることで、木造ならではのコスト削減策とデザイン性を両立した計画とする。
- ・さらに、開口部に使用するアルミサッシは、ほとんどの箇所で木造住宅用を採用する。本計画建物は 2 階建であり、耐風性能的にも十分性能を満たすことができ、コストダウンを両立できる。

② 木造建築物でありながら、維持管理（メンテナンス）における経費を縮減させるための工夫（デザイン、仕上げ、利用部材など）

1. 建物の形状と適切な使用材料の組み合わせにより、長寿命化を実現

- ・大屋根は、軒先を壁芯から1,350mm、ケラバ側は1mと、できるだけ深く出し、形状もシンプルな切妻とし、雨が多い気候風土に適した外観形状とする。また、使用する素材はカラーガルバリウム鋼板で、耐候性のある屋根材とする。
- ・外壁は、屋根と同じ素材の角波鉄板張りの大壁とし、基礎から軒裏まで継目のない長尺材で仕上げる。目地が無い仕上げ材とすることで、防水性にも優れ、経年劣化によるコーキング（防水シール）の打ち替えが不要となる。
- ・外観デザインにおいては、長屋門の建築要素を取り入れ、その部分の外壁材は、窯業系の平形スレートとした。この外装材は、素材の白華現象をあえて抑えずに本来の質感を生かした仕上げ材で、経年劣化で見苦しくならないよう配慮した。
- ・その他外観に変化を持たせるために設けた、木製の付け柱、格子、見切り材は耐水性、耐腐朽性の高い杉の赤身材とし、部材断面も大きいものとした。また、それらは雨掛かりの少ない場所に設置することとした。
- ・このように、耐久性の高い素材の選択と、物理的な劣化を軽減できるデザインを心がけることで、メンテナンスにおける経費を縮減できる。
- ・さらには、構造躯体の耐久性対策として、①基礎はベタ基礎とし、②立ち上がりの高さは地盤から400mm以上とし、③外壁材の下部には土台水切りを設置する。④基礎立ち上がりの厚みは180mmとし鉄筋のかぶりを十分確保、⑤外部側は石目調の吹付、⑥内部側は断熱材を打ち込み基礎断熱とし、コンクリートの中性化対策とする。
- ・以上のような配慮は、建物の長寿命化を実現し、メンテナンスにおける経費の縮減に寄与する。

2. 設備の更新はその機器のみの交換で対応できる計画とする

- ・空調機において天井埋め込み型は、しばしばドレンからの漏水により天井仕上げを汚損することがある。また、機器の更新時は天井仕上げの改修も必要となり費用もかさむ。
- ・本提案では、各居室に設置する空調機は、壁掛け形か床置き形のいずれかの方式を採用する。設置にあたっては、そのスペースを平面、断面計画を適切に行い、建築工事でガラリや建具を設置するなど、美観と更新時に配慮した計画とする。

③ 施設計画の策定にあたって特にアピールすること

1. 外からでも木造とわかるような計画

本提案では、木造らしさ＝外壁板張りといった概念にとらわれず、以下のような配慮で、木造らしさを追求することとする。

○窓越しに室内の木造架構が見えるデザイン

- ・来訪者が道路から専用通路を通り建物にアプローチする際や、全面道路を往来する人の目には、南側の大開口部越しに内部の木造架構が見えるような計画とする。
- ・また、事務室に設ける窓からも、内部の柱や2階床組みが見えるような計画とする。

○本体の軒裏やピロティの木造架構を現しにする

- ・大屋根の軒裏は、ダブルで配置した登り梁をそのまま張り出し、野地板とも化粧とする。その上にタルキ、野地板を連続させ、寺院建築にも見られる二重タルキ構造を模したデザインとする。
- ・また、ピロティは、外観のデザインコンセプトとした長屋門に見られる木造架構を模したレシプロカル構造の格子梁を現しとする。
- ・このように、雨がかりが少ない箇所を木造現しにすることで、維持管理に配慮しつつ木造らしさを表現する。

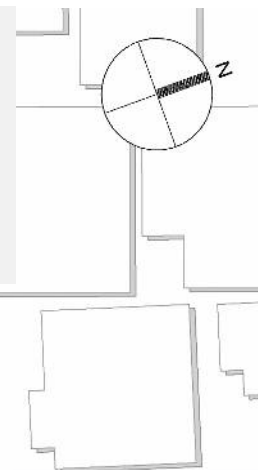
2. 2階床は遮音性と設備の配管配線に配慮した乾式二重床とする

- ・本提案では、上下階の遮音性について、床のディテールの工夫で対策を検討した。乾式二重床に吸音材を充填し、遮音性を高める計画とする。

事業工程表

項目	年月	令和元年				令和2年												令和3年				
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
設計 工事監理		●● 基本設計実施設計工事監理 提案プランの構想・策定 提案プランの確定 提案プランによる実施設計図作成 現況調査 設計・監理契約 地盤調査 平面プラン確定 基本設計完了 実施設計完了 ●コンペ提案時点で綿密な設計を実施してるため、実施設計期間を短縮 施工主検査立会い																				
		各種申請関係 構造設計者と協力体制を要請、設計・施工チーム構築 工期短縮策：確認検査の所要日数が最短となるような構造計算手法を採用 ▽確認申請 省エネ法申請 消防完了検査 建築完了検査																				
木材調達		工期短縮策：設計段階から調達すべき木材（丸太）を明確化 材料持ち込みが可能なプレカット工場を連携先として確保 ▽提案プランの 工事費見積 △各森林組合に呼掛け ・必用原木情報の共有 順次納材 納材 工期短縮策：手刻みとプレカットの加工分担により軸組加工期間の短縮 ●補助金の検査を年度内に受けられるよう建物の完成は3/15とする																				
		工事施工 ▽提案プランの 工事費見積 請負契約 実行工事費見積準備期間 7/15 大工手加工 プレカット加工現場搬入 建築主体工事 外構工事 上棟 工期短縮策：木造架構表現わしの意匠デザインや合理的な建築寸法の徹底 建物完成竣工・引渡し																				
打合わせ等 設計承認 建物検査		設計打合わせ 設計打合わせ 設計打合わせ 設計打合わせ 設計打合わせ ▽基本設計承認 設計打合わせ 設計打合わせ ▽実施設計承認 地鎮祭 撤去工事着手 上下水道引込 基礎工事 建物工事着手 加工見学 上棟式 現場にて随時打ち合わせ（定例会議：1回/10日～2週間） ●工務店から製材所に製品の注文書を出せるのは、補助金の交付決定後となる。 すみやかに発注できるよう調整し、製材所と連携 施工主検査																				
		びわ湖木材利用促進事業補助金手続き 事業実施計画書提出 補助金交付申請書提出 交付決定 現場確認 実績報告完了検査																				
		国土交通省グリーン化事業補助金手続き ●令和2年度も募集があれば、優良建築物で応募し、採択を受けられた場合に実施 その場合、採択日以降の着工が必要となるため、建物工事着手日は7/15に設定 適用申請書提出 7/10頃採択 補助金交付申請 実績報告																				
備考		コンペ情報チラシ配布 参加表明 提案書提出 コンペ要項等公表 実績報告																				

- ・ 南側道路からは専用通路を通り、建物にアプローチすることを基本とする。
- ・ 西側の境界線に沿わすように建物を配置し、南側～東側に駐車場として、東側にある保育園との緩衝体となるような配置計画とした。また、下屋として付属するピロティは通り抜けできるようにし、敷地北側までアクセスできるように配慮した。
- ・ 計画建物には、道路から給排水管・電気のケーブルを新たに埋設して接続することになるが、専用通路部分では、それを東側の境界線側に寄せた計画とし、植栽スペースを設け再舗装をする。部分的に再舗装することで、路面の色の違いが歩道部分を示すことになり、歩行者の安全に寄与する。さらに、建物周囲はメンテナンススペースを考慮した設備の設置計画とする。
- ・ 将来の増築には、東側に設けた駐車スペース（8台分）を充てる計画とした。増築後も、建物前面には駐車場を確保しつつ、敷地内に中庭スペースを設けることができる。
- ・ 以上のような配慮により、新築時はもとより将来増築された際にも、利便性が良く、採光、通風、安全、メンテナンスの面でも適切な配置計画となる。



駐車を14台分確保した上で、うちピロティに近い1箇所を車椅子利用者が利用できる広さを確保した。

- ・公道からの専用通路東側、建物南側（公道側）に植栽を配置し、来訪者が公道から専用通路を通り建物へと進入する際に、緑を感じながらアプローチできる。
- ・また、事務室、3協会の事務室の東側や、会長室、3協会の事務室の西側にも植栽を設け、室内から緑を感じられると同時に隣接からのプライバシーを確保する。
- ・全体として既存のネットフェンスはそのまま活用するが、アプローチである公道からの専用通路東側は、既存のネットフェンスの支柱を再利用した板塀を設置する（植栽の背後に板塀が配置される）。木の柔らかなさで来訪者を爽やかに迎えるとともに、外構にも木が使えることを来訪者、通行者にアピールする。

- ・既存のネットフェンスは全体としてそのまま活用し、仮囲いを兼ねる。
- ・施工中、工事現場への進入防止（安全、防犯のため）は既設のネットフェンスに適宜シート等で養生を行い対応し、予算縮減を図る。
- ・工事中の重機設置・作業スペース及び作業員の工事車両は敷地内に十分に駐車できる。

新設污水排水經路

配置図

1:300

- ・玄関から最寄りに、建物管理者である連合会の事務室を配置。中廊下を通じて会長室、3協会の事務室へのアプローチとし、来訪者の対応や利用上、適切な配置とした。
- ・階段は、玄関を入れて正面に設け、多数参加の会議の際には、2階の会議室へ安全にスムーズに誘導できるように配慮した。
- ・書類保管用の倉庫は、連合会の事務室、3協会の事務室の中間部分に配置、双方からのアプローチも可能な計画とした。
- ・便所は上下階の配置を合わせて、排水音対策のしやすい計画とし、配管工事費も抑制する。
- ・こうした平面計画は、柱間隔1.82mのモジュールを徹底し、構造計画を明確にしつつ、必要な室面積を確保した。また使用材料にロスが無く、コスト縮減にもつながる。
- ・さらに、専用通路からビロティまでのアプローチは、1/15程度のスロープとし、1階フロアレベルまで段差のない計画とした。加えて、1階の居室への出入口は引戸とし、バリアフリーを実現した。

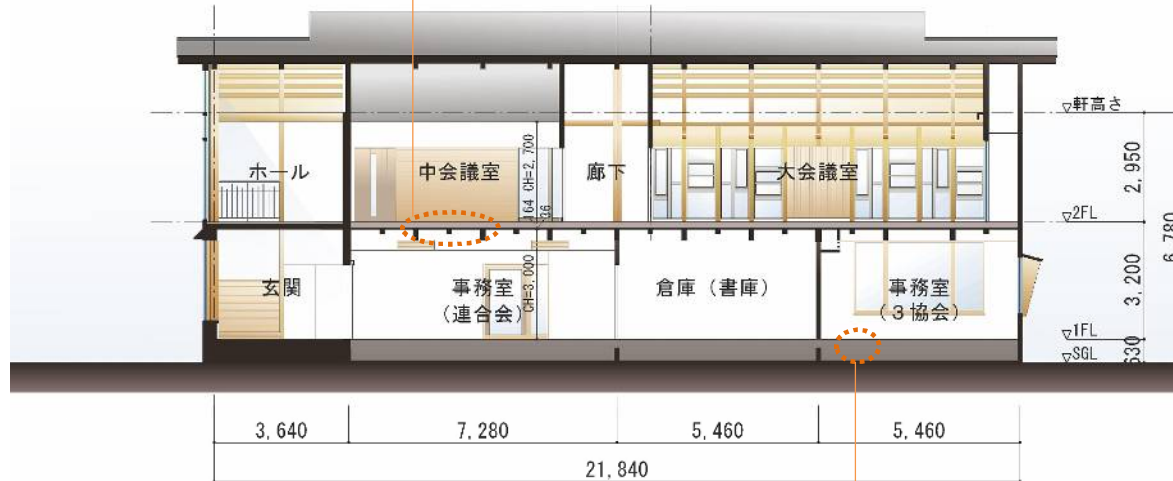
倉庫はピロティを挟んで玄関の反対側にも配置。外部から直接出入りできる倉庫を設けることで、儀事の資材・物品を、雨にかからず収納できる。山林で使った汚れた資材等も建物内に持ち込まずに収納できる。加えて、倉庫があることにより、4間幅のピロティを支える構造要素としても機能する。

1:150

事務室の3間スパン(5.46m)は120×330-4m材を基本部材とするレシプロカル構造の床組を現わしとする。
化粧とした床組みの上に、乾式二重床を採用し、遮音性にも配慮する。

大会議室の6間スパン(10.92m)は、一般流通材でつくるアーチ架構の小屋組みを現わしとする。

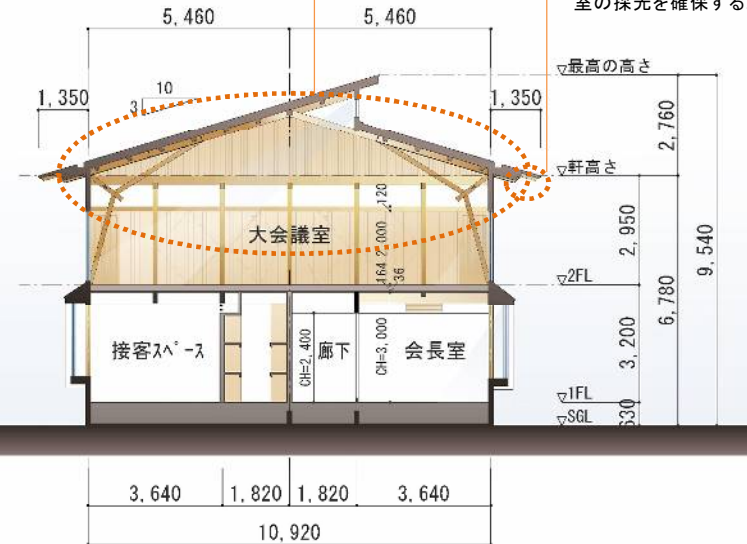
屋根は一部透過性ある材料とし、会長室の採光を確保する。



A-A 断面図

1:150

基礎内側断熱工法とし、床下は点検できる高さを確保
設備の配管・配線スペースとする。

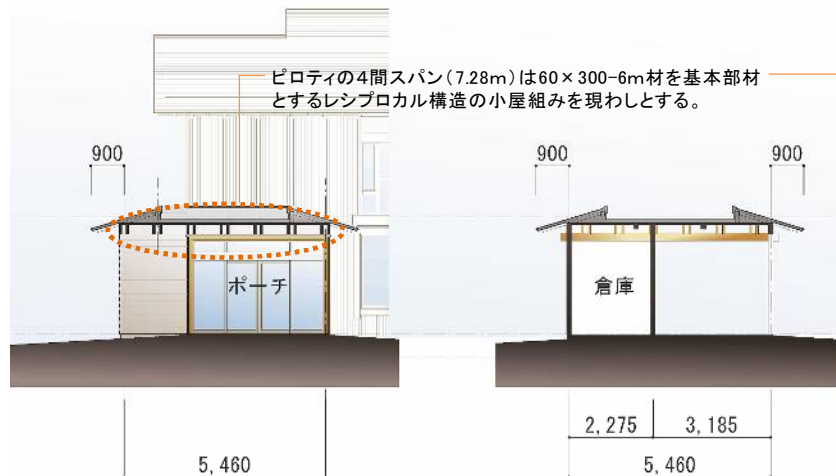


E-E 断面図

1:150

断熱は屋根面での外断熱工法とする。

軒裏は木造架構を表し、外からでも
木造とわかるような計画とする。

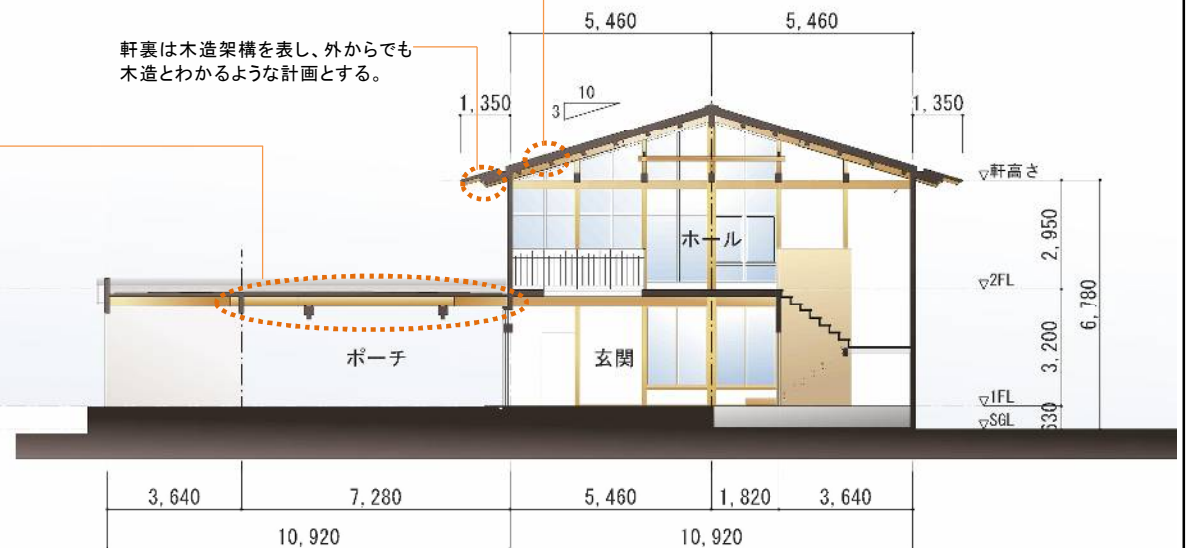


B-B 断面図

1:150

C-C 断面図

1:150

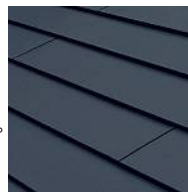


D-D 断面図

1:150

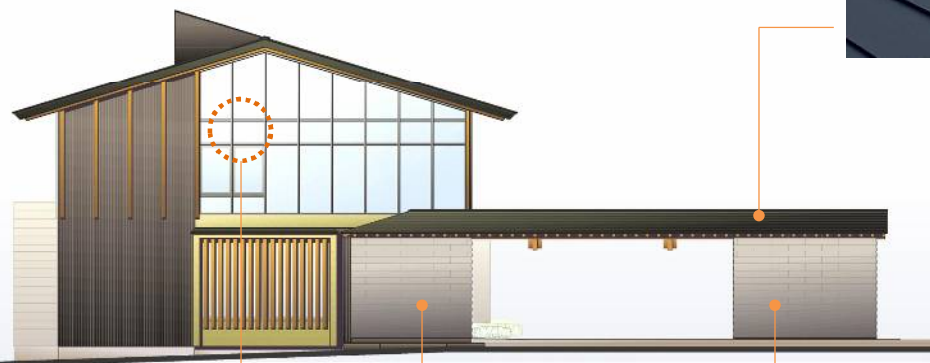
■外観デザインコンセプト

- ・外観は長屋門の建築要素を取り入れたデザインとした。長屋門は、武家屋敷や規模の大きな農家住宅で見られた建築様式で、滋賀県林業の中心拠点に相応しい、風格のある佇まいとなるようにデザインする。建設コストの縮減やスペースの有効活用面でメリットがある総2階の平面プランを基本としつつ、外観が単調にならないよう、ピロティ、通用口、倉庫を前面に配置した。ピロティ部分は、機能的には、かつての長屋門(玄関、車寄せ、倉庫機能をもつ)と同様でありながら、デザイン面ではアクセントとなる。



■屋根:カラーガルバリウム鋼板横段葺き

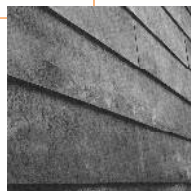
大会議室の11mスパンの屋根架構を実現するために、屋根仕上げは、軽量化をはかれるカラーガルバリウム鋼板葺きとする。



南立面図

1:150

建物正面には、アルミ製カーテンウォールを設置。透過性のある大開口部を通して、内部の木造架構が見えるようにすることで、外からでも木造らしさを感じられるような計画とする。



■外壁:窯業系平方スレート板張り

素材から湧き出す白華(エフロレッセンス)をあえて抑えずにセメント本来の質感を生かした素材を使用し外観のアクセントとする。建物全体の仕上げとは違った材料を採用することで、玄關らしさを創出する。

■付柱:杉赤身塗装仕上げ

外部に使用する木材は、耐水、耐腐朽性の高い杉の赤身材とし、部材断面も大きくする。外部に木材を使用しながら、耐久性のある外観とする。



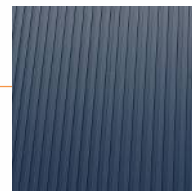
東立面図

1:150



■外壁:色モルタル掻き落とし仕上げ

鋼板仕上げのつるつとした仕上げに対しモルタルを描き落としたザラザラとした質感の仕上げとする。



■外壁:カラーガルバリウム鋼板角波張り

建物全体の外壁材は、屋根材と同じ素材の鋼板角波張りとする。耐候性のある素材を採用することで劣化を低減し、維持管理しやすい外壁とする。



北立面図

1:150

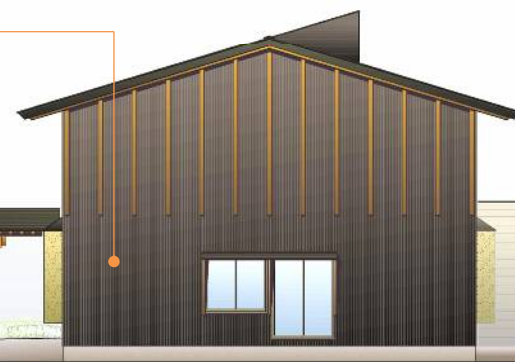
西立面図

1:150



■外壁:カラーガルバリウム文字葺き

庇のない雨かりの多い外壁は、素材も形状も屋根と同じ仕上げ材とする。同じ素材でありながら、色目を変えることで外観のアクセントとなる。



(様式4-6) 仕上表

外部仕上表						凡 例				
屋 根		カラーガルバリウム鋼板 t 0.4横段葺き 棟：換気棟（屋根同材加工）			巾 木	コンクリート打放し補修の上石目調吹付仕上げ			（仕上・下地）	
陸 屋 根		弾性FRP防水（骨材入トップコート）			付柱・化粧見切り	杉赤身木材保護塗料塗り			P B ― 石膏ボード	
外 壁		カラーガルバリウム鋼板角波張り（通気工法）			木 格 子	杉赤身 100×100 木材保護塗料塗り			（塗 装）	
		カラーガルバリウム鋼板一文字葺き（通気工法）			軒 天	大屋根：野地板、タルキ化粧木材保護塗料塗り（OP）			W A X ― プラネットカラー（ハードクリアオイル）	
		窯業系平方スレート（SOLIDO typeM_LAP）張り（通気工法）			樋	大屋根-内樋：カラスレンレス鋼板加工			木材保護塗料 ― プラネットカラー（ウッドコート）	
		色モルタル掻き落とし仕上げ（通気工法）				下屋軒樋：既製品角樋 縦樋：同材丸樋φ60				
内部仕上表										
階	室 名	床高	天井高	床		壁（腰）		天井		備 考
				仕上・下地	巾木	仕上・下地	仕上・下地	廻縁		
1	玄 関	±0	吹 抜 3,000	磁器質300×600角（岩面）タイル貼 下地：嵩上げコンクリート	御影石	杉板三種厚（t 12、t 21、t 30）乱尺張 P B t 12.5下地薩摩中霧島壁塗		C L T（杉 t 150）パネル化粧		施設案内板 びわ湖材促進事業利用明示板
	事 務 室 （連合会）	±0	3,000	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		J パネル・梁化粧		机・ボード（行事用：1,800×900） ピクチャーレール
	会 長 室	±0	3,000	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼 杉羽目板 t 30間仕切り張り化粧		J パネル・梁化粧		ピクチャーレール
	事 務 室 （3 協会）	±0	3,000	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		J パネル・梁化粧		机・ボード（行事用：1,800×900） ピクチャーレール
	小 会 議 室	±0	3,000	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		J パネル・梁化粧		
	倉 庫 1 （書 庫）	±0	3,000	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼 杉羽目板 t 30間仕切り張り化粧		J パネル・梁化粧		棚
	更 衣 室	±0	2,400	構造用合板 t 24+耐水合板 t 9下地 長尺ビニル床シート t 2.0貼	ビニル巾木	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	塩ビ製	
	男 子 便 所	±0	2,400	構造用合板 t 24+耐水合板 t 9下地 長尺ビニル床シート t 2.0貼	床材巻き上げ	耐水 P B t 12.5下地化粧メラミン板貼		杉羽目板 t 12（白太無節）張	底目	
	女 子 便 所	±0	2,400	構造用合板 t 24+耐水合板 t 9下地 長尺ビニル床シート t 2.0貼	床材巻き上げ	耐水 P B t 12.5下地化粧メラミン板貼		杉羽目板 t 12（白太無節）張	底目	
	廊 下	±0	2,400	檜フローリング t 30張W A X 塗	杉	H500～2,000まで杉羽目板（1等） t 12張 P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	底目	
	掃除用具入	±0	2,400	構造用合板 t 24+耐水合板 t 9下地 長尺ビニル床シート t 2.0貼	ビニル巾木	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	塩ビ製	面台、棚
	通 用 口	±0	2,400	磁器質300×600角（岩面）タイル貼 下地：嵩上げコンクリート	御影石	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	底目	
倉 庫 2	-50		モルタル金コテ押さえ	基礎化粧	杉羽目板（1等） t 12張り（横張）		野地板（J パネル）・梁化粧		棚	
2	中 会 議 室	±0	2,700	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上タイルカーペット t 5敷	杉	P B t 12.5下地ビニルクロス貼 杉羽目板（1等） t 12張り（横張）		P B t 9.5下地ロックウール吸音板 t 9貼	塩ビ製	
	大 会 議 室	±0	3,155～	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上タイルカーペット t 5敷	杉	パーフェクトパリア t 25充填の上杉小幅板（上小） t 12透かし張 P B t 12.5下地ビニルクロス貼		野地板（J パネル）・梁化粧		演台、スクリーンBOX
	倉 庫 3	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上長尺床シート t 2.0貼		杉羽目板（1等） t 12張り（横張）		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	塩ビ製	
	倉 庫 4	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上長尺床シート t 2.0貼		杉羽目板（1等） t 12張り（横張）		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	塩ビ製	棚
	男 子 便 所	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上長尺床シート t 2.0貼	床材巻き上げ	耐水 P B t 12.5下地化粧メラミン板貼		杉羽目板 t 12（白太無節）張	底目	
	女 子 便 所	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上長尺床シート t 2.0貼	床材巻き上げ	耐水 P B t 12.5下地化粧メラミン板貼		杉羽目板 t 12（白太無節）張	底目	
	ホ ー ル	±0	3,155～	根太35×45下地杉フローリング t 15張W A X 塗	杉	杉板三種厚（t 12、t 21、t 30）乱尺張 P B t 12.5下地薩摩中霧島壁塗り		野地板（J パネル）・梁化粧		
	廊 下	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 杉フローリング t 15張W A X 塗	杉	H500～2,000まで杉羽目板（1等） t 12張 P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	底目	
	掃除用具入	±0	2,400	乾式遮音二重床下地 捨張り合板 t 12の上長尺床シート t 2.0貼	ビニル巾木	P B t 12.5下地ビニルクロス貼		P B t 9.5下地ビニルクロス貼	塩ビ製	
階 段			1 段目：CLT（杉 t 150）パネ化粧 W A X 塗 段板：杉板 t 30 W A X 塗 け込：合板下地ガルバリウム鋼板 t 0.4張		P B t 12.5下地薩摩中霧島壁塗 C L T（杉 t 150）パネル化粧		野地板（J パネル）・梁化粧		手摺：堅木 W A X 手摺親柱・手摺子：スチール製塗装	